

令和7年度 第1回 定時総会

議 案 書

日 時 令和7年5月21日(水)

場 所 京王プラザホテル札幌

一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会

令和7年度 第1回定時総会 議事次第

1. 開会の辞

2. 会長理事挨拶

3. 議長選出

4. 議案審議

第1号議案 令和6年度事業報告、決算報告、監査報告

第2号議案 任期満了に伴う役員を選任について

第3号議案 常勤役員退職慰労金について

5. 議長退任

6. その他

7. 閉会の辞

令和6年度 事業報告

1. 概要

一般社団法人北海道土地改良設計技術協会は、事業計画に基づき(1)寒冷地における農業農村整備事業の調査研究開発、(2)寒冷地における農業農村整備の技術研修会、講演会及び見学会の開催、(3)寒冷地における農業農村整備の技術資料の収集、配布及び情報の交換、(4)農業農村整備事業にかかわる企業の育成のための情報の提供及び助言、(5)その他この法人の目的を達成するための必要な事業を実施した。

(1) 会議等

ア 総会

第1回定時総会（令和6年5月22日）

令和5年度事業報告、決算報告、監査報告、役員（追加）の選任並びに常勤理事の報酬の総額について

臨時総会（令和6年9月25日）

役員（追加）の選任について

第2回定時総会（令和7年3月26日）

令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

イ 理事会

第1回理事会（令和6年5月7日）

令和5年度事業報告、決算報告、監査報告、役員（追加）の選任、常勤理事の報酬の総額、役員等の報酬及び旅費規程の改定並びに第34回協会表彰被表彰者の決定について

第2回理事会（令和6年6月7日）

令和5/6年度委員会委員（追加）の選定について

第3回理事会（令和6年9月25日）

役員（追加）の選任について

第4回理事会（令和6年9月25日）

常務理事の選任について

第5回理事会（令和7年1月17日）

令和6年度農業農村整備事業補正予算及び令和7年度農業農村整備事業予算（概算決定）について

第6回理事会（令和6年3月26日）

令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

ウ 委員会

企画委員会及び広報・研修・技術検討委員会合同会議（令和6年4月25日）

技術検討委員会（含積算技術研究会）（令和6年6月18日）

研修委員会（令和6年6月24日、10月30日）

広報委員会（令和6年6月20日、9月3日）

表彰審議委員会（令和7年3月26日）

エ 新年交礼会（令和7年1月17日）

（2）会員の状況

令和7年3月31日付で(株)地圏総合コンサルタント札幌支店の退会により、令和7年3月末時点で28社となっている。

2. 一般会計

（1）公益事業

ア 技術開発・普及事業

（ア）技術開発・技術講習会

積算・寒冷地における農業農村整備事業に必要とされる各種基準、指針、マニュアルの検討を継続した。

・暗渠排水計画設計施工マニュアル

既存資料の作成時から年数が経過しており、当時技術が未確立であった地下水位制御システムや新たな知見等も追加し、改訂に向けた作業を開始した。

また、令和5年4月に会員各社を対象に行ったアンケートにおいて、要望の多かったテーマの「管水路耐震設計」と令和6年度に当協会が発刊したパイプラインに係るマニュアルについて、技術の習得を図るため、技術講習会を実施した。また、会員会社を対象に、講習テキストをダウンロードできるようにした。

・第1回技術講習会（令和6年6月25日、受講者：172名）

「パイプライン耐震設計と地震被害－設計基準の改定と課題－」

茨城大学名誉教授・農研機構フェロー 毛利栄征氏

「畑地かんがい用パイプライン計画設計施工マニュアルの発行について」

(株)フロンティア技研 技術部長 石田暢士氏

（イ）技術情報収集・配布

農業農村整備事業に関する情報、文献収集、技術図書・文献の受入れなどを行い保管した。また、目次などの概要を公開し、技術習得、技術普及に努めた。

（ウ）積算技術研究会

契約、業務実施上の諸問題について、会員各社から多様な意見を収集し、研修、統一的な要望等を行うとともに、調査・設計業務における遂行上及びとりまとめにおける問題について関係機関から意見を聴取し、関係機関との意見交換会を実施した。

・10 開発建設部との協会要望に係わる意見交換（令和6年10月29日～11月14日）

イ 研修会事業

(ア) 土地改良研修会

- a 農業農村整備事業を取り巻く状況についてマクロ的な立場からの理解
- b 農畜産物の利用やこれからの農業農村整備に求められる技術や知識に関する提言
- c 会員各社の最新の研究成果発表等

の演題を通し、これからの農業農村整備に求められるビジョンや技術を習得する研修会を開催した。研修終了後講演録を作成し関係機関、教育機関等に配布、併せて協会 HP に掲載した。

- ・第1回土地改良研修会(令和6年10月30日、受講者:173名、含ライブ配信)

「農業の成長産業化を支える農業インフラのデジタル化」

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

理事・農学博士

白谷栄作氏

「技術研究発表」(報文集36号からの3報文)

会員3社

- ・第2回土地改良研修会(令和7年1月31日、受講者:143名、含ライブ配信)

「最近の農業農村整備を巡る諸情勢について」

北海道開発局農業水産部 部長

植野栄治氏

「気候変動の適応と温室効果ガスの軽減による

持続可能な農業の維持に向けて」

北海道大学名誉教授 農学博士

波多野隆介氏

(イ) 現地研修会

施工技術の習得を目的として、設計業務に求められる改善点、設計と施工の情報交換、留意点について現地での研修会を開催した。

a 道内研修会

- ・現地研修会(前期)(上川地域:旭東地区、当麻永山地区、令和6年7月9日、参加者:44名)
- ・現地研修会(後期)(道南・胆振地域:今金南地区、伊達地区、大原二期地区、令和6年9月25~26日、参加者:20名)

b 道外研修会

- ・中国四国農政局管内(国営児島湾沿岸農地防災事業、国営香川用水二期農業水利事業、令和6年11月14~16日、参加者:21名)

c 現地ミニ講習会

新工法、施工法、特殊仮設等について会員各社の設計技術者が現地で実際に見学、講習を受けることにより、新技術の習得、設計技術の向上と速やかな技術普及を図るため、現地ミニ講習会を9回開催した。

- ・第1回現地ミニ講習会(令和6年8月8日、参加者:18名)

国営かんがい排水事業「神竜二期地区」

管水路形式による排水路工の設計・施工について

- ・第2回現地ミニ講習会(令和6年10月1日、参加者:16名)

国営かんがい排水事業「中後志地区」

プレキャスト用水路の接続工法について

- ・第3回現地ミニ講習会（令和6年10月8日、参加者：29名）
国営緊急農地再編整備事業「岩見沢北村地区」
ガラス繊維強化ポリエチレン管の施工について
 - ・第4回現地ミニ講習会（令和6年10月22日、参加者：13名）
国営かんがい排水事業「篠津運河中流地区」
軟弱地盤における鋼管杭基礎工法の施工について
 - ・第5回現地ミニ講習会（令和6年10月23日、参加者：13名）
国営かんがい排水事業「新川二期地区」
排水機場改修工事における既存施設を併用しながら工事を行うための仮設計画について
 - ・第6回現地ミニ講習会（令和6年11月8日、参加者：14名）
国営かんがい排水事業「斜里飽寒別地区」
排水路工事における原生花園に隣接する鋼矢板護岸の施工について
 - ・第7回現地ミニ講習会（令和6年11月20日、参加者：17名）
国営かんがい排水事業「新鷲川地区」
用水路工事における基礎対策工法の設計・施工について
 - ・第8回現地ミニ講習会（令和6年11月27日、参加者：17名）
国営かんがい排水事業「十勝川左岸二期地区」
環境に配慮した排水路護岸工の設計・施工について
 - ・第9回現地ミニ講習会（令和6年12月17日、参加者：18名）
国営かんがい排水事業「共栄近文二期地区」
頭首工改修工事における表面保護工法の設計・施工について
- （※）なお、第10回現地ミニ講習会（令和6年12月18日）は荒天中止

（ウ）資格講習会

設計技術者の資質向上を目的に以下の講習会を実施した。

- a 技術士二次試験筆記試験対策講習会（令和6年4月6日、参加者：63名）
- b 技術士二次試験口頭試験対策講習会（令和6年11月、二次試験筆記試験合格者の内、希望者に口頭試験対策資料を送付した。）

ウ 広報事業

（ア）会誌「技術協」「報文集」の発刊

土地改良や北海道の農業農村整備事業に関する話題、行政の動向、会員等の技術研究成果等の提供を目的に情報誌を発刊し、関係機関等に配布、協会HPに掲載した。

- a 技術協
 - ・「技術協」第112号（令和6年9月30日発刊）
 - ・「技術協」第113号（令和7年3月3日発刊）
- b 報文集
 - ・「報文集」第36号（令和6年9月30日発刊）

(イ) 北のフォトコンテスト、写真展

a 北の農村フォトコンテスト

農業・農村の写真を通じ、「農」、「食料」、「土地改良」への関心を高め、農村景観に与える農業農村整備事業、土地改良、営農等の成果の蓄積や研究への利用を図るとともに、応募された写真を「2025 北の農村カレンダー」、ポストカード、書籍、冊子等に利用し啓発、広報活動に寄与した。

- ・JR 誌 (7月号～10月号) に第 39 回「豊かな村づくり」写真展作品応募広告を掲載
- ・第 38 回「北の農村フォトコンテスト」審査会 (令和 6 年 5 月 20 日)、入賞作品を協会 HP に掲載発表 (令和 6 年 6 月 3 日)
- ・「2025 北の農村カレンダー」用写真審査会 (令和 6 年 9 月 9 日)
- ・「北の農村フォトコンテスト」応募作品使用依頼 (北海道開発局旭川開発建設部外 7 件)
- ・「豊かな農村づくり写真展 北の農村フォトコンテスト検索システム」の第 38 回フォトコンテスト分の新たな応募写真データの追加更新を行い、関係機関に配布し、利用の便に供した。

b 写真展

フォトコンテスト入賞作品を始めとした応募作品の展示会を公共の場で開催し、広く「農」、「食料」、「土地改良」への関心を高め啓発、広報に寄与した。

- ・第 38 回「豊かな農村づくり」写真展 (令和 6 年 10 月 3 日～10 月 5 日) 応募作品 531 点の内 190 点を札幌駅前通地下広場 (北 3 条交差点広場 (西)) に展示。アンケート協力者に第 38 回応募作品から作成した「2025 北の農村カレンダー」A2 版 436 部、A3 版 217 部を提供。来場者にポストカード (6 枚組) 2,000 部と展示作品を収録した小冊子を配布。

(2) 共益事業

ア 経営者研修会

協会会社の経営者等を対象に、農業農村整備事業に関する現状と今後の展開方向について、当協会より情報提供を行った。

- ・令和 6 年度経営者研修会 (令和 6 年 9 月 25 日、参加者：44 名)
近年の直轄農業農村整備事業の動向、令和 7 年度農業農村整備事業概算要求の概要並びに委託業務の入札制度の動向について

イ 海外研修会

カンボジア国視察研修 (令和 6 年 11 月 25 日～12 月 1 日、参加者：25 名)
研修報告書を関係者に配布した。

ウ 表彰・会員名簿

協会の事業推進と発展に顕著な功績のあった者を対象に、第 34 回表彰式を実施した (令和 6 年 5 月 22 日)。

被表彰者 6 名

特別功労賞 小林博史氏 ((一社)北海道土地改良設計技術協会 前専務理事)

特別功労賞 堂守敏和氏 (前理事)

特別功労賞 神谷光彦氏 (前理事)

特別功労賞 島田昭三氏 (前理事)

特別功労賞 明田川洪志氏 (前理事)

特別功労賞 高橋明文氏 (前技術検討委員)

令和 7 年度会員の概要と有資格者等を記載した会員名簿を発刊し、会員及び関係機関に配布した。

エ 関係団体事務

(公社)農業農村工学会、(一社)農業土木事業協会、(公社)土地改良測量設計技術協会、全国農業土木技術士会、北海道農業土木技術士会、全国農村振興技術連盟、(一社)畑地農業振興会、北海道地方CALS/EC推進協議会、北海道高度情報化農業研究会、認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム、(一社)北海道土地改良建設協会、農業農村工学会技術者継続教育機構等の関連事務並びに会員間、関係機関に情報提供を行った。

・(公社)農業農村工学会北海道支部幹事会 (令和 6 年 6 月 25 日、7 月 29 日)、代表幹事会 (令和 7 年 2 月 7 日)

・全国農業土木技術士会 理事会 (令和 6 年 6 月 13 日)、理事会・企画委員会 合同会議 (令和 6 年 11 月 5 日)

・北海道農業土木技術士会講演会 (令和 6 年 7 月 5 日、参加者：97 名)

「近年の異常気象のメカニズムと将来の気象予報」

気象予報士 菅井貴子氏

「温暖化に伴う道内農業生産への影響と対応

～作物生育・田んぼダム・土壌流亡～」

地方独立行政法人北海道立総合研究機構中央農業試験場

主 査 竹内晴信氏

・技術研修会 (令和 7 年 2 月 12 日、(一社)北海道土地改良建設協会、参加者：40 名)

・北海道高度情報化農業研究会 運営委員会 (令和 6 年 6 月 25 日、12 月 23 日)

・認定 NPO 法人ほっかいどう学推進フォーラム 理事会 (令和 6 年 7 月 3 日、7 月 26 日)、通常総会 (令和 6 年 7 月 26 日)

・(公社)農業農村工学会技術者継続教育機構認定プログラム登録 (17 件、CPD41 単位、延べ 746 名)

3. 特別会計

(1) 受託事業

国からの発注者支援に係る受託業務の他、受託業務を円滑に進めるため、関係技術者の向上のためのマニュアルの改定等や各種設計施工マニュアルの発刊に向けた作業など、本協会の目的にかなう事業を実施した。

(ア) 国、地方自治体及び関係団体における調査業務、積算・検査・審査・監督支援業務

・岩見沢北村地区外2地区 監督支援業務 外12業務
(現地配置担当技術者36名)

(イ) 受託事業に係る研究開発

a 品質管理マニュアル(監督支援業務)

工事監督補助業務における管理技術者、担当技術者のため、①「管理技術者マニュアル」、②工事施工品質管理マニュアルの「共通編」、「情報管理とコンプライアンス編」「CAD練習帳」、③工事施工品質管理マニュアル(工種別編)の「区画整理(水田)編」「区画整理(畑)編」「開水路編」「管水路編」「肥培かんがい編」「農地保全・排水路編(泥炭地)」「排水路編」「橋梁編」のR5版を増補・改定し、R6版を作成した。

b 用水路設計施工マニュアル(監督支援業務)

監督支援業務の品質管理向上に資することを目的として、今後の事業量増大が想定される用水路(開水路)について、既存資料の作成時から年数が経過していることから、新たな知見等も追加し発刊に向けた作業を継続した。

c 仮設工事例収集(監督支援業務)

新土木工事積算マニュアル(案)の改定基礎資料や設計担当者の執務参考資料として利用するため、仮設工事例の収集調査を行った。

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金・預金	100,940,435	28,693,230	129,633,665
現金	345,307		345,307
普通預金	4,180,768	28,693,230	32,873,998
小口現金	1,000,000		1,000,000
退職給付引当資産	5,214,360		5,214,360
品質保証準備金			
定期預金	90,200,000		90,200,000
立替金	1,383,259	0	1,383,259
未収金	0	930,749,000	930,749,000
内部取引資産	238,603,245	0	238,603,245
前払費用	254,400	0	254,400
流動資産合計	341,181,339	959,442,230	1,300,623,569
2. 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
退職金共済掛金	854,200	0	854,200
特定資産合計	854,200	0	854,200
(2) その他固定資産			
什器備品	4,524,843	0	4,524,843
敷金	5,820,000	246,180	6,066,180
出資証券	16,000,000	0	16,000,000
その他固定資産合計	26,344,843	246,180	26,591,023
固定資産合計	27,199,043	246,180	27,445,223
資 産 合 計	368,380,382	959,688,410	1,328,068,792
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	2,737,383	679,976,884	682,714,267
未払法人税等	0	4,211,900	4,211,900
未払消費税等	0	4,570,300	4,570,300
預り金	1,950,174	0	1,950,174
内部取引負債	0	238,603,245	238,603,245
流動負債合計	4,687,557	927,362,329	932,049,886
負 債 合 計	4,687,557	927,362,329	932,049,886
III 正 味 財 産 の 部			
1. 一 般 正 味 財 産			
一般正味財産	363,692,825	32,326,081	396,018,906
(うち特定資産への充当額)	(△ 854,200)	(0)	(△ 854,200)
負債及び正味財産合計	368,380,382	959,688,410	1,328,068,792

令和6年度 正味財産増減計算書

自 令和6年4月1日から
至 令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
1) 経常収益			
(1) 会費収入	[62,000,000]	[0]	[62,000,000]
(2) 研修会等会費	[3,044,781]	[0]	[3,044,781]
(3) 参加費収入	[44,012]	[629,988]	[674,000]
(4) 受託事業収入	[0]	[892,169,000]	[892,169,000]
(5) 関連団体運営費	[365,000]	[0]	[365,000]
(6) 雑収入	[734,439]	[52,372]	[786,811]
経 常 収 益 計	66,188,232	892,851,360	959,039,592
2) 経常支出			
(1) 事業費(直接)	[42,995,947]	[725,320,636]	[768,316,583]
I. 公益事業	34,075,822		34,075,822
1. 技術開発・普及事業	8,589,459		8,589,459
(1) 技術開発・技術講習会	5,545,820		5,545,820
(2) 技術情報収集・配付	2,606,289		2,606,289
(3) 積算研究会	437,350		437,350
2. 研修事業	7,679,853		7,679,853
(1) 土地改良研修会	2,875,508		2,875,508
(2) 現地研修会(道内・道外・ミニ)	4,372,058		4,372,058
(3) 資格講習会	432,287		432,287
3. 広報事業	17,806,510		17,806,510
(1) 技術協、報文集	3,592,600		3,592,600
(2) フォトコンテスト	14,213,910		14,213,910
II. 共益事業	8,920,125		8,920,125
(1) 経営者研修会	17,480		17,480
(2) 海外研修会	8,154,871		8,154,871
(3) 表彰・会員名簿	619,619		619,619
(4) 関連団体事務	128,155		128,155
III. 受託事業	[0]	[725,320,636]	[725,320,636]
(2) 事業費(共通)	[8,595,610]	[123,079,904]	[131,675,514]
人件費	6,536,513	93,577,660	100,114,173
事務所代	1,182,267	16,939,250	18,121,517
諸雑費	876,830	12,562,994	13,439,824
(3) 管理費	[6,436,568]	[35,950,706]	[42,387,274]
人件費	1,291,200	24,987,708	26,278,908
事務所代	247,400	3,524,906	3,772,306
諸雑費・会議費	4,897,968	7,438,092	12,336,060
経 常 費 用 計	58,028,125	884,351,246	942,379,371
当 期 経 常 増 減 額	8,160,107	8,500,114	16,660,221
II. 経常外増減の部			
1) 経常外収益			
2) 経常外費用			
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	8,160,107	8,500,114	16,660,221
法 人 税 等	0	4,211,900	4,211,900
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	8,160,107	4,288,214	12,448,321
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	355,532,718	28,037,867	383,570,585
一 般 正 味 財 産 期 末 高	363,692,825	32,326,081	396,018,906

令和7年4月24日

一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会
会長理事 蒲原 直之 殿

監 事 島 田 元 樹 

監 事 中 村 秀 明 

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査し、さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書、計算関係書類(貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの付属明細書)について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一. 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い状況を正しく示しているものと認めます。
- 二. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益(正味財産増減)の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

第 2 号議案 任期满了に伴う役員の選任について

第3号議案 常勤役員の退任慰労金について

常勤役員の退任慰労金については、役員退任慰労金並びに弔慰金規程に基づき、報酬月額、役員在任年数、役位、功績度等を勘案して算出することとし、理事会に一任する。